

建設業に理解深めて

札幌市建設局は9日、建設業人材確保・育成支援事業の一環として、札幌工高を対象とした現場見学会を開いた。生徒らは市内3カ所を訪れたほか、現場で活躍する若手技術者の講話を聞くなどして建設業に対する理解を深めた。



同高卒業生の松本さんは

「これまでの経験などを話し、「建設業でもものづくりに挑戦したい人は一緒に頑張りましょう」と呼び掛けた。

また、細川さんは舗装工事の工程を紹介。「指示した内容が形になったり、作業が進むたびに達成感がある。工事完成後

対象は土木科1年生77人。豊平川水道水源水質保全取水堰新設、豊平川水道水源水質保全斜面管路新設、宮の森・北24条通称北24条大橋上部工新設の3カ所を2班に分かれて見て回った。

学校に戻り昼食前に実施した若手技術者による仕事紹介では、札幌中小建設業協会が協力。会員企業から北創の入社4年目・松本竜也さんと、大東の入社7年目・細川大輔さんが講師を務めた。

若手技術者が仕事のやりがいなどを生徒たちに伝えた

の住民からの感謝にもやりの「がいを感じる」と魅力

を伝えた。

このほか、生徒たちは各現場で工事概要などの説明を受け、いろいろと質問しながら建設業の仕事について学んだ。

北海道建設新聞 2020年(令和2年)10月10日(土曜日)

さっぽろ圏域

